

# 山田クリニック ぽすと

平成23年 6月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

## 診察室から

めまいで受診される方が多くなっています。めまいの原因は、大きく分けると頭(小脳)と耳(内耳)に分けられますが、耳に原因のあるめまいのうちで、有名な病気にメニエール病があります。この病気はめまいと同時に「耳鳴り」、「難聴」、「むかつき」が起こり、耳鼻科での治療が主体になります。頭(小脳)に原因のある場合は、じっと立っていることができないとか、まっすぐに歩けないなどの、平衡感覚の異常が同時に起こります。小脳梗塞や小脳出血が小脳性めまいの原因ですが、何ヶ月もの間続く小脳性のめまいの場合は、小脳腫瘍の可能性もあります。「急に顔を動かしたらふらつきがある」とか「立ち上がったとたんに、少しふらつく」などの症状は、頭の位置が急に変化することで、脳内の血液分布が変化して起こると思われれます。このようなめまい(ふらつき)には、大きな病気がかくれていることは少なく、あまり心配する必要はありません。

## 検査室より

### 放射線被ばくによる障害について

震災による原発事故で未だに、放射能の問題がマスコミで取り上げられています。では、いったい放射線を浴びたなら、身体にどのような症状が起きるのでしょうか？ちなみに、医療で使われる放射線では今、マスコミで取り上げられている原発内部程の被ばく量は考えられませんのでご安心ください。

放射線による影響には、2つのものがあります。ある量を一度に浴びれば、必ず症状が出る確定的影響と癌や遺伝的影響などのように発現する確率が被ばく量に依存していると言われる確率的影響です。必ず現れる確定的影響は、火によるものと似ています。まずは皮膚が赤くなり火ぶくれし、さらに大量の被ばくがあれば、皮膚が剥離して壊死してしまいます。他に、髪も一時脱毛から永久脱毛となり、リンパ球や造血機能が失われ、腸管も壊死して命を落とすこととなってしまいます。しかし、これはあくまでも大量の放射線を瞬時に浴びた場合のお話です。

確率的影響とは被ばくした方が皆、将来的に白血病や癌になるものではなく、自然発生する場合よりも、被ばく量により発現する率が多少上がると言われています。

(放射線技師)

## 季節のことは

### 紫陽花 (あじさい)

長い梅雨の間をなごませてくれるのが紫陽花です。

白に始まって青、紫、淡赤と変身するこの花を古人は、七変化、八仙花と呼び、日に日に変わる彩を楽しみました。

## 当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00~6:00

## ご連絡

特定健診・後期高齢者健診を受け付けております。

